

ハマトビウオ都 TAC 更新のための ABC 算出研究

【研究概要】

ハマトビウオ漁業の次年度 TAC 策定に必要な ABC（生物学的許容漁獲量）を算出するとともに、資源解析精度の向上を図る。また、ハマトビウオの回遊経路など、資源管理の高度化に必要な生物学的特性を明らかにする。

①令和 4 年漁期のハマトビウオ水揚量は、伊豆諸島海域で 1.5 万尾と前年に比べて 8.9 万尾減少、鹿児島（屋久島）では 7.7 万尾で 3 万尾減少した。

②神津島で漁獲された 20 尾、屋久島産 315 尾のハマトビウオを測定し、成熟、分布等について知見を得た。八丈島の漁船が漁獲した 1,790 尾の尾叉長測定、雌雄判別を行い、旬別の来遊状況を把握した。

③資源量指標値の算出に標準化による CPUE を用い、令和 4 年漁期における ABC Limit を 3.7 万尾、資源変動の可能性やデータ誤差に起因する評価の不確実性を考慮した ABC Target は 2.9 万尾と算定された。

④上記結果に基づき、資源評価票を作成した。